



民放ローカル局の意義と課題

2019年1月17日

一般社団法人 日本民間放送連盟

■ 地域を取材し、地域情報を集める	2
■ 地域コンテンツの流通促進【地域から全国へ】	8
■ 地域コンテンツの流通促進【地域から海外へ】	30
■ ラジオの取り組みと課題	38
■ まとめ	43
■ ローカル局の課題と展望	47

1. 地域取材し、地域情報を集める



■ 報道：地域住民の「知る権利」に応える地域ジャーナリズム

ローカル局は毎日のニュースをタイムリーに伝え、
地域住民の視点から調査報道、災害報道を行っています。



チューリップテレビ（富山県）

富山市議会の政務活動費不正に関する調査報道



- ・ 2016年に情報公開請求などで大量の資料を調べ上げ、富山市議会の政務活動費不正をスクープした調査報道。全国的に地方議会のあり方を見直す契機となる。
- ・ 夕方、深夜のローカルワイドニュースで連日報道。「報道特集」などの全国ネット番組でも発信。
- ・ 視聴者から「丁寧に情報公開に取り組んだことを讃えたい。報道という仕事の基本を若者に示した」など、多数の反響。
- ・ 定期的に討論番組「地方議会の改革を問う」を放送し、議会改革の進捗を検証。領収書のネット公開等の改善が進んでいる。

■ ローカル局は**事実の積み上げ**と**裏付け取材**を基本として、調査報道を行っています。

■ 都道府県単位を基本とする**現行の県域免許制度**は、地域ジャーナリズムを担保する仕組みとして**有効に機能**しています。

福島中央テレビ 東日本大震災の継続的な震災報道



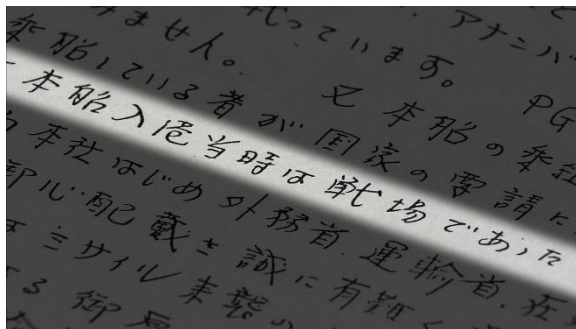
- ・ 2011年3月11日午後2時46分、東日本大震災発生。大津波が太平洋沿岸に襲来し、福島第一原発も被災。
- ・ 福島中央テレビは福島第一原発の水素爆発をメディアで唯一撮影。約4分後に全国放送にカットイン（割り込み）し、原発カメラの生中継をローカル放送。“爆発”とは表現せず、アナウンサーは「大きな煙が出ました」と繰り返し実況した。
- ・ 環境放射線量が上昇する中での取材、健康不安を訴える視聴者の声など原子力災害報道の難しさに直面。被災者それぞれの困難を継続取材し、地元メディアとして風化に抗う。シリーズ「ふくしまの未来」は100回を超える。
- ・ NNS系列局が応援に入りタンクローリーで燃料を輸送するなど、報道、ロジスティックのあらゆる面から支援を受けた。

■ 複数の民放事業者に県域免許を付与して多元性を確保する現行の放送制度は、緊急時の多様な情報提供を担保しています。

■ 災害時には地域を越えて系列ネットワーク全体が被災地のローカル局を支援します。

名古屋テレビ放送

「メ〜テレドキュメント 葬られた危機 ～イラク日報問題の原点～」



- ・平成30年日本民間放送連盟賞・準グランプリを受賞番組（テレビ報道番組最優秀）。全国向けに再放送される予定。

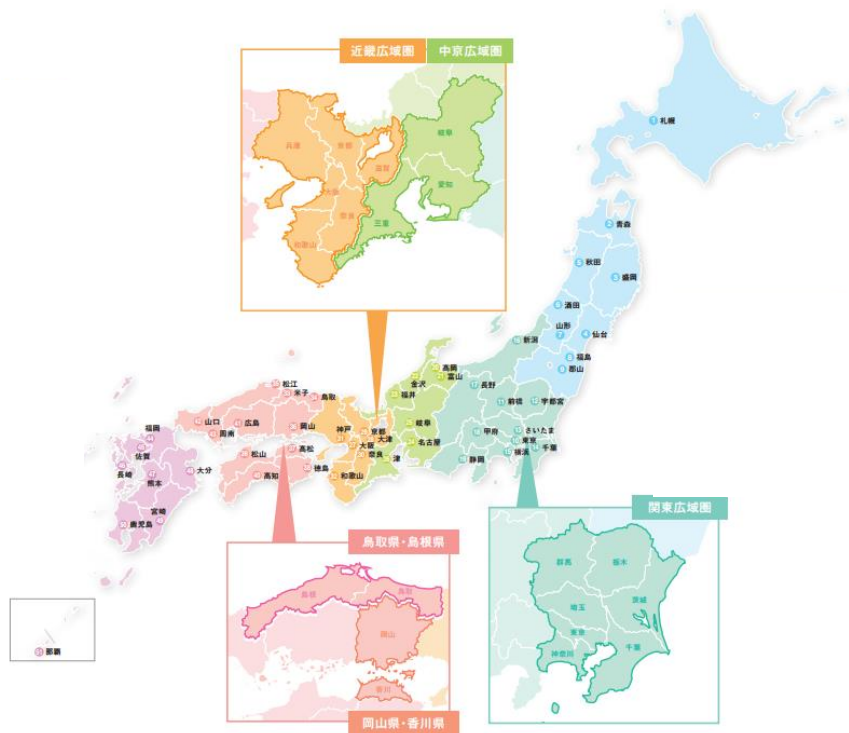
【あらすじ】湾岸戦争で米国の支援要請を受けて日本政府が最初に派遣したのは民間船。米軍の指示で危険な海域に入り、ミサイル攻撃を受け、情報開示請求で得られた船長の報告書は「ここは戦場だ」と記す。しかし外務省は事実を隠蔽し、中東貢献船を派遣する間に政府は自衛隊派遣の検討を重ね、ペルシャ湾に掃海部隊を派遣。自衛隊の初の海外派遣となった。

当時、派遣に奔走した元官僚は「知らせないで済むことは知らせない」と言っている。ミサイル攻撃が隠された背景を探り、海外派遣を支えてきた「虚偽」と「隠ぺい」の原点を指摘する。

■ 地域に題材をとったドキュメンタリー番組は地域を越えた普遍的な問題を描くという側面があります。

■ ドキュメンタリー番組の制作に際しては過去素材の集積や事象の裏取りをするうえで、系列ネットワークの協力が不可欠です。

全国取材拠点とネットワーク



- ・ ローカル局は県庁所在地や主要都市の行政機関（県庁・警察など）に記者を配置・常駐し、地方議会や地方行政の動き、地域の事件・事故といった日々のニュースを取材・放送し、地域住民の知る権利に応えている。
- ・ ネットワーク系列局が取材した映像素材は各系列の「ニュースネットワーク協定」に基づき共有され、当該地域での放送のみならず、全国向けのニュース番組等に活かされている。
- ・ さらにローカル局は地域特有の歴史的・文化的な社会問題を丁寧に掘り起こしたドキュメンタリー番組などを制作し当該地域で放送するだけでなく、ネットワークを通じて日本全国で放送されることがある。

■ ローカル局は放送エリアの主要都市に記者を配置し、系列ネットワークの取材網は全国に及びます。

■ 地域情報を収集し、専門職能としての倫理に従って信頼できる情報を発信する。それがローカル局です。

2. 地域コンテンツの流通促進【地域から全国へ】



■ 地域を越えた連携による全国発信

ローカル局は地域を越えて連携し、
「地域」と「社会全体」の問題を多様な視点で全国に発信しています。



系列ネットワークによる発信

●ローカル局



地域のニュースや話題
台風や事件・事故の中継

●在京キー局の全国ネット番組



ネットワークで全国放送

【ローカル局の企画ものから始まったドキュメンタリー】



●テレビ新潟放送網が1987年から26年間
継続取材。

●日本テレビ放送網が全国ネット番組である
「ズームイン!!朝!」「NNNドキュメント」で放送、2014年に映画化。



NNNドキュメント

●テレビネットワーク

	JNN (28社)	NNN (28社)	FNN (28社)	ANN (28社)	TXN (6社)	独立協 (3社)
北海道	北海道放送 HBC	札幌テレビ放送 STV	北海道文化放送 UHB	北海道テレビ放送 HTB	テレビ北海道 TVH	
青森県	青森テレビ ATV	青森放送 RAB		青森朝日放送 ABA		
岩手県	IBC岩手放送 IBC	テレビ岩手 TVI	岩手朝日テレビ MIT	岩手朝日テレビ IAT		
宮城県	東北放送 TBC	宮城テレビ放送 MMT	仙台放送 SBC	東日本放送 KHB		
秋田県		秋田放送 ABS	秋田テレビ AKT	秋田朝日放送 AAB		
山形県	テレビユー山形 TVY	山形放送 YBC	山形朝日テレビ SAT	山形朝日放送 YAB		
福島県	テレビユー福島 TUF	福島中央テレビ FCT	福島テレビ FTV	福島放送 KFB		
群馬県	TBSテレビ TBS	日本テレビ放送 NTV	フジテレビジョン	テレビ朝日	テレビ東京	
東京都						
神奈川県						
新潟県	新潟放送 BSN	テレビ新潟 TBS	新潟朝日テレビ NST	新潟朝日放送 NAB		
長野県	信越放送 SBC	テレビ信州 TBS	長野朝日放送 ABN			
山梨県	テレビ山梨 UTY	山梨放送 YBS				
静岡県	静岡放送 SBS	静岡朝日テレビ SBT	静岡朝日放送 SATV			
愛知県	テレビ朝日 TVT	北日本放送 NNB	愛知朝日放送 AHB			
石川県	北陸放送 NBB	テレビ金沢 KTK	石川朝日放送 ITC	北陸朝日放送 HAB		
福井県		福井放送 FBC	福井朝日放送 FCB			
滋賀県	滋賀朝日放送 HTK	滋賀テレビ放送 TVK				
岐阜県						
三重県						
大分県	毎日放送 MBS	毎日テレビ放送 YTV	毎日朝日放送 KTV	毎日朝日放送 TVT	毎日朝日放送 TVO	
京都府						
大阪府						
兵庫県						
奈良県						
和歌山県						
鳥取県	山陰放送 BSB	日本海テレビ NKT	山陰中央テレビ BSK			
島根県						
岡山県	山陽放送 RSK	岡山放送 ONK				
広島県						
山口県	山口朝日放送 YBC	山口朝日放送 YAB				
徳島県						
香川県						
高松市						
愛媛県						
高知県						
福岡県						
佐賀県						
長崎県						
熊本県						
大分県						
宮崎県						
鹿児島県						
沖縄県						

■ 全国ネット番組はローカル局からの生中継や企画ものを織り交ぜて制作されますが、これらは自社制作比率に反映されません。

テレビ新潟放送網 ドキュメンタリー映画「夢は牛のお医者さん」



【あらすじ】1987年、新潟県の山あいにある小さな小学校に3頭の子牛が入学しました。素朴な木造校舎、牛との共同生活、そして迎える牛の卒業式。病気がちの牛たちを前に少女は思いました。「私がお医者さんになって治してあげる」。

月日は流れ、小学校は廃校に。少女は親元を離れ下宿しながら遠くの高校に通っていました。「高校3年間、テレビは見ない」と、子どもの頃の夢に向かって猛勉強する彼女。以来、高校生活、大学受験、国家試験…取材は26年に及びました。

新潟の雪深い地での生活、子どもたちの豊かな瞳、お父さんたちの出稼ぎ風景、中越地震、働くことの厳しさとよろこび。地元だから追えた、地域発・感動のドキュメンタリー映画。

■ 地域に密着したローカル局だからこそ制作できるドキュメンタリーがあります。

系列ネットワークを越えた発信



放送を通じて教育の機会均等と振興に寄与することを目的とする公益財団法人。地域を代表する全国34の民間放送局（テレビ33局+ラジオ1局）で組織され、既存ネット系列をこえて全国をカバーできる民放唯一のネットワーク

【会長あいさつ】（抜粋）

- ・ 全国各地にはたくさんの魅力あるユニークな産業や歴史や文化があります。そして、それぞれの特徴ある放送局が生み出す教育ドキュメンタリー番組は、**地域に根ざしているからこそ描き出せる作品のチカラ、放送のチカラ**を感じさせてくれます。
- ・ そのチカラを受け取った地元の人たちは、改めて故郷の魅力やチカラに気付かされるかもしれません。他の地域の人々は、驚きの新発見や大きなヒントを得られるかもしれません。
- ・ ひとりひとりの人間が、何かを知るチカラ、感じるチカラ、そしてそこから考えるチカラを身につけていく。そんなチカラの循環と結集が地域を潤し、やがて日本のチカラになっていくことを私は願っています。そして、それこそが教育のチカラであり、民教協の役割であると考えています。



公益財団法人民間放送教育協会 会長 吉永みち子

【出典】民間放送教育テレビ協会webサイト

■ 系列ネットワークを越えて、全国放送される仕組みがあります。

福島テレビ

日本のチカラ「手のひらに願いをのせて～木のおもちゃで幸せをデザイン～」



- ・既存の系列ネットワークを越えて、全国の民放テレビ事業者33社が順次放送。

【あらすじ】 小さなおもちゃメーカー、マストロ・ジェッペット。「子どもを笑顔にしたい」という思いがデザイナーの富永周平さんを動かし、腕の良い職人を求めてたどり着いたのが福島県南会津町。古くから木工職人が暮らし、木工の伝統が息づく町です。

「良いおもちゃを作りたい」と手をかければかけるほど採算が合わなくなり、会社の経営は厳しいのが現状です。それでも作り続けていく訳は「地域や文化の紹介を小さなおもちゃを元に広げていく」という設立当初からの願いがあるから。

木工の仕事を守るのは容易なことではありません。それでも地域の力を合わせ木工の技と木の文化を遺そうとしています。

■ 教育や地域振興といった共通のテーマを軸とする **地域を越えたローカル局の連携**は、さまざまな地域の“チカラ”を引き出し、**多様で質の高い番組**の制作・放送に繋がっています。

沖縄テレビ放送「菜の花の沖縄日記」



- ・ 第38回「地方の時代」映像祭2018グランプリ受賞番組（平成30年日本民間放送連盟賞・テレビ報道番組優秀）。

【あらすじ】石川県から沖縄の学校に入学するためやってきた坂本菜の花さん、15歳。人々との交流を通して彼女は、この島ではずっと「戦争」が続いていることを肌で感じ取っていく。

こうした体験を故郷の北陸中日新聞のコラム「菜の花の沖縄日記」に書き続けた。希望の島で、15歳の少女がみた、リアル沖縄とは…。基地政策によって人々の暮らしが脅かされる沖縄の現実、その中であって希望を抱き生きる若者を追ったドキュメンタリー。

■ 地方紙でコラムを連載する少女にスポットを当てることで、テレビと新聞の垣根、沖縄県と石川県の距離を飛び越え、**地域と社会全体の問題を全国に**問いかけています。

■ 放送事業外収入に繋がる取り組み

ローカル局は放送に留まらず、地域に根ざしたテーマの映画製作やイベント事業に積極的
に取り組み、地域文化の醸成や地方創生に貢献しています。



映画製作による全国発信

東海テレビ放送（愛知県、2017年1月公開）

南海放送（愛媛県、2019年3月公開）



ローカル局は放送番組に留まらず、地域に根ざしたテーマの映画を製作し、全国に発信しています。

イベント事業による地域創生

長崎国際テレビ「DEJIMA博」



- ・ DEJIMA博は、交流人口の拡大に資する食と遊の大規模イベント。2014年に始まり、5回目となる2018年はゴールデンウィークに開催。4日間の来場者数は県内外から231,000人にも上る。
- ・ 長崎創生プロジェクトの認定第1号事業。「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に適合する民間事業として支援を受けている。
- ・ 期間中の2018年5月3日に特別生番組「GO! GO! DEJIMA博 2018GW開幕SP」を放送。5月6日にも朝と昼の地域情報番組で紹介し、放送連動でイベントを盛り上げた。

■ 地域密着、放送連動のイベント事業を積極的に実施し、地域創生に貢献しています。

■ 放送事業外収入に繋がるほか、視聴者と直接の接点をもつ貴重な機会になっています。



■ インターネット配信の活用

ローカル局は地元スポーツやオリジナルコンテンツの配信、ハイブリッドキャストを利用した4K配信などに取り組み、インターネットを積極的に活用しています。



中国放送（広島県） 動画配信サービス「RCC PLAY！」



ハンドボール
地元リーグ戦



ホッケー
地元リーグ戦



広島カープ
ファン感謝デー

動画配信サービス

RCCPLAY!

- ・ 2017年10月開始。自社制作番組の見逃し配信、オリジナルコンテンツのライブ配信、VOD配信を実施。
- ・ 地元スポーツのライブ配信、VOD配信（一部有料）。ライブコマースも実施。
- ・ 災害時は特番を配信する。

ローカル局はネット配信で放送のリアルタイム視聴の動機付け、番組二次利用による増収を目指しています。インターネットをテレビ、ラジオに次ぐ「第3のメディア」に育てる実験の位置づけです。

岡山放送

日本初の商業施設館内TV＋インターネット放送・haremach TV



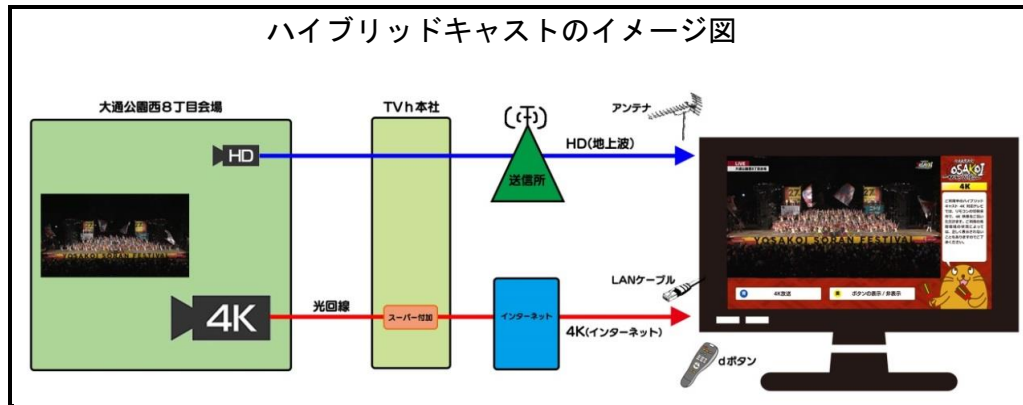
- ・ 岡山放送は2014年12月、イオンモール岡山にOHKなかもちスタジオ「ミルン」を開設。民放事業の“工場”であるコンテンツ部門を移転し、視聴者に近い場所で新たなビジネスチャンスを狙う。
- ・ イオンモール岡山と岡山放送が共同で「haremach TV」を開設。365日10:00~21:00の間、館内専用モニター52台とインターネットに配信。国内外のイオンモールを結んでいる。
- ・ 350を超す専門店と年間来客数2,000万人を見込むイオンモール岡山の館内情報と地域情報を配信中。
- ・ コンテンツはスタジオや館内外からの生中継、VTR番組、岡山放送の番組で構成。haremach TVで音楽番組をライブ配信し、その後地上波で放送する取り組みも実施。



■ ローカル局は放送と通信の連携による
新たなメディアの創造で、次世代のビジネスモデルを追求しています。

テレビ北海道

ハイブリッドキャストを利用した4Kライブ配信



- ・テレビ北海道は2018年6月、ハイブリッドキャストを活用し「今夜大賞決定！YOSAKOI ソーラン2018 THE FINAL」の4K映像ライブ配信を実施。予想を上回る約600台の対応テレビに配信された。
- ・高精細な4K映像によって演舞全体を見渡せる引きの画でも踊り子一人ひとりの表情まで分かり、臨場感あふれる映像の配信が実現した。
- ・放送から通信に切り替える画面ボタンを自社開発し、機材をレンタルで調達するなどの工夫でコストを抑制。入念な準備と人員配置の効率化により、従前とほぼ変わらない撮影、配信体制で実施した。

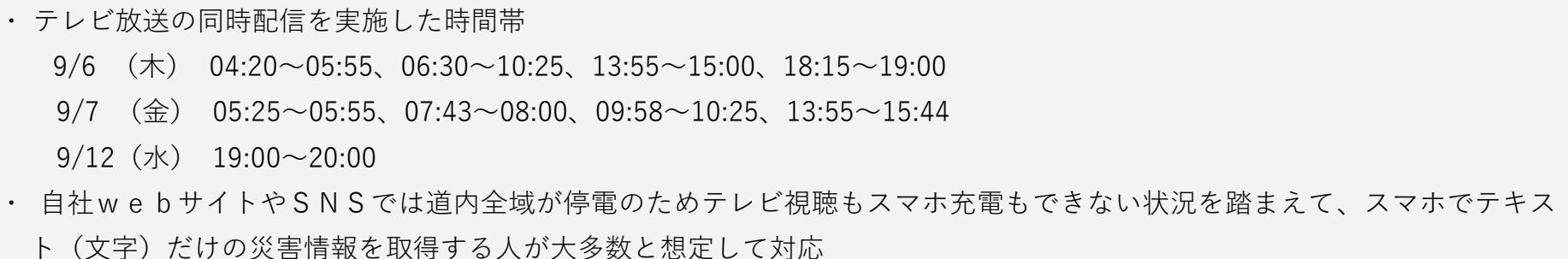
■ ローカル局には**財政力、人員などの制約**がありますが持てる技術を地道に磨き、少し背伸びをすればできることが多くあります。

■ ローカル局も情報を共有し、**積極的に新技術を取り入れていく**ことで放送事業の新たな領域を切り拓くことができます。

■ 同時配信：災害時は「情報のライフライン」

災害時には自社webサイトやYouTube公式チャンネルなどで
災害特番をネット同時配信しています。





朝日放送テレビ（近畿広域圏） 台風21号（2018年9月）の災害報道



（スマートフォン視聴のイメージ）



・テレビ放送等の対応（2018年9月4日）

05:00:00～06:45:00 「おはようコールABC」 → 番組冒頭からL字挿入開始

06:45:00～08:00:00 「おはよう朝日です」

09:55:00～10:25:00 「ABC報道特別番組 台風21号近畿地方に接近」

→ 生字幕対応、AbemaTV、朝日放送テレビの災害情報チャンネル（YouTube）でLIVE配信

13:55:00～16:54:00 「キャスト<前拡大>」 → 生字幕対応、AbemaTVでLIVE配信

16:54:00～17:53:00 「キャスト1部」 → 生字幕対応

21:54:00～23:10:00 「報道ステーション」 → 番組終わりでL字挿入終了

■ 同時配信：平時は「いま見たい」に応える

スポーツ中継や報道のネット同時配信には、国民・視聴者のニーズがあります。



同時配信の取り組み

●TBSテレビ「ニューイヤー駅伝」 (2019年1月1日)



同時配信サブの監視画面

●日本テレビ放送網「箱根駅伝」 (2019年1月2日、1月3日)



在京キー局5社は同時配信の実証実験を行っており、見逃し配信のTVerをプラットフォームとして活用しています。

在京民放5社による放送の同時配信サービスに関する技術実証について（2018年9月発表）



- 【配信実験番組】日本テレビ放送網「レスリング全日本選手権」12/23 放送
 テレビ朝日「女子サッカーなでしこジャパン国際親善試合」11/11 放送
 TBS テレビ「2018 世界バレー女子大会」9/29～10/20 放送
 テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」「青春高校3年C組」2019/1/21～2/1 放送分
 フジテレビジョン「みんなのKEIBA」11/25、12/23 放送
- 【配信先】「TVer」各局の配信サービス・各局番組ホームページ等に対応

■ 見逃し配信：「好きなときに、好きな場所で見たい」に応える

ドラマやバラエティ番組には、見逃し配信のニーズがあります。



- ・ 2015年10月にサービス開始（当初は在京5社のみ）。
- ・ 広告付き無料のキャッチアップサービスを行う民放統一プラットフォーム。
- ・ 在京5社・在阪4社の民放9社が連携しサービスを提供。
- ・ 放送終了後から次回番組放送開始までの原則約7日間ストリーミングで配信。
- ・ 各社が放送した約170番組のキャッチアップコンテンツに加え、関連の配信オリジナル番組も展開。
- ・ パソコン・スマートフォン・タブレットで、好きな時に、好きな場所で、視聴可能。
- ・ 2018年2月の平昌オリンピックでは、gorin.jpのライブコンテンツの配信を実施。同年6～7月のワールドカップサッカーロシア大会でもライブ配信を実施。
- ・ お気に入りのタレントや番組名を登録できる便利なマイリスト機能搭載。全国対応した番組表(地上波・BS)を掲載。
- ・ 2018年5月からユーザー属性アンケート調査開始。レコメンドなどのユーザービリティ向上等のために利用予定。
- ・ MAU（月間アクティブユーザー数）は800万近くまで到達。順調にサービスが拡大。安心・安全な動画サービスとしてユーザーからも高評価。



【テレビ西日本の配信事例】



■ 独自プラットフォームだけではマネタイズ化に課題があります。

■ 地域コンテンツの全国配信にT V e r を活用するアイデアも考えられます。

地上民放テレビ127社における番組配信の実施状況

[民放連調べ、2018年11月1日現在]

①有料VODサービス		②無料VODサービス		③地上テレビ放送の 同時配信サービス (定常的サービス)	④地上テレビ放送の 同時配信サービス (単発のサービス)	⑤番組編成型 ストリーミングサービス
自社プラットフォーム	他社プラットフォーム	自社プラットフォーム	他社プラットフォーム			
9社	58社	74社	104社	5社	64社	8社
●HTB北海道onテマンド[®] (北海道テレビ放送) ●日テレオンデマンド[®] (日本テレビ放送網) ●テレ朝動画(テレビ朝日) ●FOD(フジテレビジョン) ●テレビ東京ビジネスオンデマンド[®] あにてれ(テレビ東京) ●テレ玉オンデマンド[®](テレビ埼玉) ●MBS動画イズム444コース (毎日放送) ●カンテレドーガ (関西テレビ放送) ●KBCオンデマンド[®] (九州朝日放送)	※huluやNetflix、 キー局のプラットフォームで ローカル局も 多数コンテンツ を配信	●TVer(在京キー5社、在阪準キー4社) ●TBS FREE(TBSテレビ) ●日テレ無料(TADA) (日本テレビ放送網) ●テレ朝キャッチアップ[®](テレビ朝日) ●FOD見逃し無料 (フジテレビジョン) ●ネットもテレ東(テレビ東京) ●Chuun(中京テレビ放送) ●MBS動画イズム(毎日放送) ●ytv MyDo!(読売テレビ放送) ●カンテレドーガ(関西テレビ放送) ※ローカル局のサービスは 下記参照	※YouTubeや GYAOなどのプラットフォームで ローカル局 も多数コンテンツを 配信	●NEWSモーニングサテライト/青春高校3年C組(テレビ東京) ●エムカス(東京外ロータリオンテレビジョン) ●エムカス(群馬テレビ) ●BACHプラザ[®](テレビ埼玉) ●スホ[®]魂ながさき(長崎文化放送)	※災害報道、 スポーツ中継、 選挙速報、イベント、 バラエティ、ドラマ、 議会中継など 幅広いジャンルの 番組をローカル局 も配信	●UHB女子アナなまらイブ[®] (北海道文化放送) ●TBS NEWS(TBSテレビ) ●日テレNEWS24 (日本テレビ放送網) ●フジテレビONE/TWO/NEXT Smart(フジテレビジョン) ●伊澤ゴルフカープファームch (テレビ新広島) ●あい☆スタLIVE!(あいテレビ) ●アナ部屋(長崎文化放送) ●うすきチャンネル (大分朝日放送)

※ 赤字はローカル局(在京キー5社、在阪準キー4社、在名準キー4社以外)のサービス

※ テレビ放送のように番組(コンテンツ)を編成してストリーミング配信するサービスを「番組編成型ストリーミングサービス」と表記

ローカル局の無料VODサービス(自社プラットフォーム) 名称一覧

もんすけTV (北海道放送)	STVどさんこ動画 (札幌テレビ放送)	HTB北海道onテマンド [®] (北海道テレビ放送)	ミヤテレMoTTo (宮城テレビ放送)
TUYオンデマンド [®] (テレビユー山形)	エムカス (東京外ロータリオンテレビジョン)	テレ玉オンデマンド [®] (テレビ埼玉)	BSN新潟放送オンデマンド [®] (新潟放送)
TeNYオンデマンド [®] (テレビ新潟放送網)	テレ金ちゃんねる (テレビ金沢)	RCCPLAY! (中国放送)	ぽるぽる動画 (広島ホームテレビ)
ポケットTSS (テレビ新広島)	テレビ愛媛ビビットオンデマンド [®] (テレビ愛媛)	eatオンデマンド [®] (愛媛朝日テレビ)	NBCテレPlus+ (長崎放送)
モッテレ (テレビ長崎)	NCCオンデマンド [®] みよーで! (長崎文化放送)	※ 上記以外、サービス名称のない自社ウェブサイトでの配信も多数実施	



3. 地域コンテンツの流通促進【地域から海外へ】



■ 放送コンテンツの海外展開

ローカル局は放送コンテンツの海外展開によって「地方」へのインバウンド需要を喚起し、日本経済の発展に貢献しています。



R K B 毎日放送（福岡県） タイ「アユタヤ絆駅伝」



- ・ 2017年3月、日本とタイの修好130周年を契機にR K B 毎日放送は毎日新聞社と共催で「アユタヤ絆駅伝 2017」を開催（主催：タイ国政府観光スポーツ省）。両国から435チーム、1740人が参加し、駅伝のタスキが日本とタイの深い絆を表す友情のシンボルとなった。
- ・ 日本ではR K B 毎日放送とB S - T B S、タイではチャンネル7がそれぞれ放送。日本とタイの視聴者がそれぞれの国の魅力を知り、観光に訪れるきっかけ作りを狙っている。
- ・ 2018年から日本政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業「SPORT FOR TOMORROW」の認定を受け、S N Sでも駅伝のライブ中継などを発信。

■ 放送連動のスポーツ事業を通じて、国際交流に貢献しています。

■ 放送番組でお互いの魅力を知ることがインバウンド需要を喚起します。

山陰中央テレビジョン放送（鳥取県、島根県） 放送コンテンツ海外展開促進事業



- ・ 山陰中央テレビジョン放送は2014年度から総務省「放送コンテンツ海外展開推進事業」として海外向けの番組を制作、放送。二次利用を考慮して、いずれも英語版としている。
- ・ 全国漁業協同組合連合会が海外に日本の魚をPRしたいと考えていると知ったことがきっかけ。2018年度まで連続で採択され、シンガポールやフィリピン、マレーシアで放送。2015年度からクルーズ船の旅を提案する番組を制作。国際交流基金事業でメキシコやモンゴルなどに番組販売。2017年度からTIFCOMや香港フィルムマートに出展。
- ・ 2018年度から東京支社にコンテンツ戦略室を設置、放送コンテンツ海外展開促進機構に入会した。

■ メディア環境が大きく変わる中、ローカル局は海外への番組販売等、市場の広がり期待し、挑戦しています。

■ 「地方の魅力」を伝える放送コンテンツが「地方へのインバウンド」を喚起し、日本全体に経済効果をもたらすと考えています。

大分朝日放送 放送コンテンツ海外展開促進事業



- ・大分朝日放送は2015年度から総務省「放送コンテンツ海外展開推進事業」として海外向けの番組を制作、放送。
- ・2017年度は温泉を核としたインバウンド誘客と温泉地活性化事業を実施。農泊や石仏めぐり、城下町散策を行う番組を4Kで制作し、台湾と香港で放送。取り組み前の2014年に比べ2017年の香港、台湾からの観光客はいずれも2倍に迫る勢い。
- ・「外国人観光客は温泉に入ってくれない」という温泉地の悩みを聞き、肌着メーカーと共同で「湯浴み着」を開発。地域課題の解決に取り組んでいる。湯浴み着は県内10か所で導入予定。
- ・地方公共団体や企業との信頼関係を構築し、自走化を目指す。

■ ローカル局は地元の自治体や企業と連携し、地域課題の解決に資する放送コンテンツの海外展開に取り組んでいます。

■ 4K制作の美しい映像は、海外の番組見本市などで人気です。

■ 系列ネットワークの連携による海外展開

ローカル局は系列ネットワークで連携し、単独では難しい海外展開に取り組んでいます。



N N S 共同制作番組「Joyous Japan」



- ・ 海外では月～金の帯編成が一般的なため、30~50本のまとめ買いが行われる。特定の都道府県ではなく1シリーズで日本各地を扱うほうが広く日本を紹介できるため海外のバイヤーには便利だが、ローカル局単独で制作するのは難しい。
- ・ NNS（日本テレビネットワーク協議会）は統一テーマ、統一フォーマットでローカル局がコンテンツを提供し合うことで、日本全国を扱う話数の多い番組シリーズを制作している。この取り組みを通じて、海外向け番組の制作ノウハウの共有も図っている。
- ・ 売り上げは手数料を差し引いて配分されるため、海外のコンテンツ見本市への出展が難しいローカル局でも海外展開で収益を得るチャンスがある。

■ 系列ネットワーク局の連携はさまざまな地域の魅力を引き出し、多様で質の高い番組の制作・放送に繋がっています。

■ 単独では難しいローカル局にもチャンスが生まれ、世界に通用するコンテンツ制作のノウハウを持つ人材育成に繋がります。

ＪＮＮローカル８局コンソーシアム 「ニッポン探索クイズバラエティ Go!Go!ニンじゃぼん」



- ・ 連携によるスケールメリットを生かし、日本全国や海外、webに展開できる番組として企画。国内23の民放事業者に番組販売したほか、2018年2月にベトナムのHTV7で放送。8局（青森、新潟、長野、石川、愛媛、高知、大分、宮崎）が4本ずつ日本とベトナム双方の知的好奇心をくすぐる情報やクイズを詰め込んだVTRを制作。これをネタに両国の人気タレントがスタジオトークする番組構成。
- ・ オリジナルの忍者キャラクター「ニンじゃぼん」を開発し、権利処理の円滑化とマーチャンダイジングを実現している。
- ・ ローカル局では地方の中小企業がスポンサーに。

■ 「日々の編成の先にある番組」の海外展開を図ることで、継続できる事業の仕組みの構築を目指しています。

■ ローカル局連携のあり方は地域内や隣接する局同士の連携だけでなく、柔軟な発想でビジネスとしての継続性を織り込んだ施策を考えることが重要です。

4. ラジオの取り組みと課題



地域に密着したラジオの存在



- ・ラジオは受信機と乾電池さえあれば、いつでもどこでも聴くことができる、大変便利なメディアです。特に災害が発生して停電した際に、いち早く情報を得るうえで非常に有用です。ラジオは地域に密着した生放送中心のメディアであり、パーソナリティの肉声がリスナーとの間に親しみのあるコミュニケーションを形成します。
- ・自社制作比率が高く、平均52.7%です（ラテ兼営局49.8%、A M・短波単営局74.4%、F M局48.4%、2015年民放連調べ）。
- ・民放ラジオのローカル番組のリスナーは、その有用性を高く評価しています（全国放送に比べ親しみを感じる77%、役に立つ情報が得られる61%、2018年民放連研究所調べ）。その一方、聴いたことがある人は全体の3割を切る点が課題です。
- ・地域経済に貢献し、放送エリア内のローカル広告主からの収入が60%以上を占める社が過半数です（2015年民放連調べ）。
- ・ラジオならではのファンコミュニティが存在し、民放ラジオ社が主催する“ラジオ祭り”には数万人のファンが集まります。

■ ラジオは「身の回りにある、最も手軽なメディア」であり続けてきました。災害時の有用性も評価されています。

■ 地域密着の生放送がラジオならではの親しみのあるコミュニケーションを形成します。

■ デジタル化するメディア環境への適応

ラジオはインターネット配信で地域情報を発信し、スマートフォン端末への対応にも取り組んでいます。





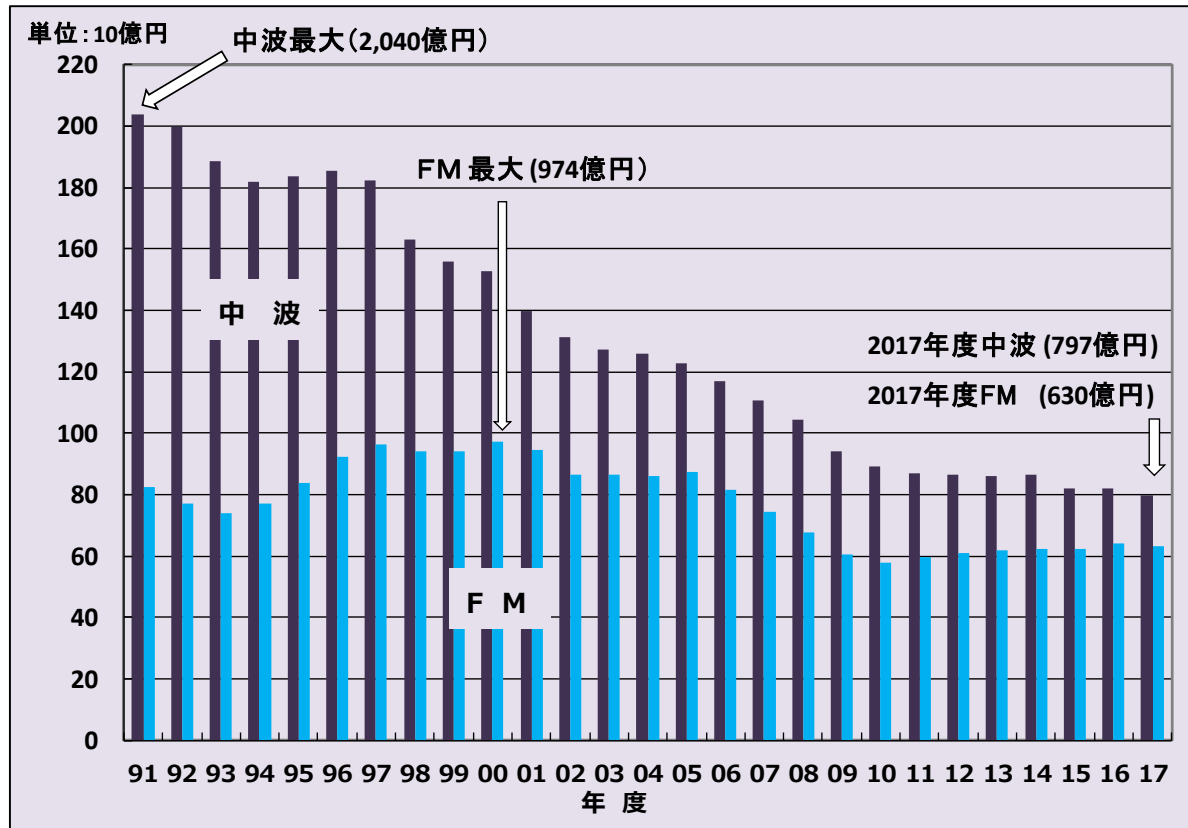
- ・ 2010年3月に実用化試験配信を開始、同12月に株式会社radiko設立。都市難聴対策、聴取機会の拡大、若年層へのアプローチ、SNSと連携した新しいラジオの楽しみ方の提案、ラジオ業界全体としての媒体価値向上などが目的。
- ・ radikoでは全国のラジオ放送がネットで同時配信されている（民放連加盟101局中93局が参加）。インターネット接続環境があれば今いる場所のラジオ放送をパソコン、タブレット、スマートフォンで聴取できる。
- ・ ライブ配信だけでなく、過去1週間以内の番組聴取が可能な「タイムフリーサービス」も実施。プレミアム会員（月額350円、約55万人）になると、全国のラジオ局の放送が聴ける「エリアフリーサービス」も実施。
- ・ 日間ユニークユーザー（UU）数は約120万～130万、1UU当たり1日約130分聴取。
- ・ スマートスピーカーにより、リビングでの聴取が再活性化。radikoは、Google Home、amazon echo、LINE Clovaに対応。

■ radikoを共通のプラットフォームとして、ローカル局の地域コンテンツを全国へ配信する仕組みが構築されています。

放送と通信が連携するハイブリッドラジオの開発

- ・ 民放連はFM放送波とIP通信を切り替えてラジオを聴くことのできるスマートフォンの開発を通信キャリア、メーカー、radiko社と協力して推進。2019年2月以降、2つの通信キャリアから各1機種が発売される予定。この2機種には「radiko+FM」アプリがプリインストールされる。
- ・ FM放送波のメリット（高音質、遅延・輻輳・パケット消費なしなど）とIP通信のメリット（FM波の届きにくいところでの安定的な受信、タイムフリー機能など）を両立。

ラジオ営業収入の推移



2018年民放連調べ（総務省「放送事業の基盤強化に関する検討分科会」第1回会合（2018.11.20）提出資料）

- ラジオが災害時の「ファースト・インフォーマー」（第一情報提供者）として、今後もその社会的責務を果たしていくためには、ラジオ事業の基盤強化が必要と考えています。

5. まとめ

ローカル局の事業規模

	売上高	純利益	常勤役員数	従業員数
北海道放送	115億7089万円	7 億2047万円	10人	230人
札幌テレビ放送	156億8862万円	9 億4496万円	8人	223人
テレビ北海道	52億2188万円	2 億1459万円	7人	93人
福島テレビ	59億8028万円	1 億9007万円	8人	118人
福島中央テレビ	63億6886万円	3 億2567万円	6人	114人
テレビ新潟放送網	75億388万円	6 億2339万円	8人	92人
チューリップテレビ	32億7200万円	1 億2970万円	9人	81人
東海テレビ放送	310億3988万円	14億2862万円	11人	347人
名古屋テレビ放送	247億6838万円	16億3428万円	7人	256人
朝日放送テレビ	625億4500万円	20億1800万円	8人	732人
山陰中央テレビジョン放送	41億394万円	1 億1358万円	6人	99人
岡山放送	70億356万円	1 億4979万円	6人	143人
中国放送	111億6570万円	3 億4035万円	7人	184人
南海放送	55億5700万円	4 億9097万円	8人	112人
R K B 毎日放送	196億7900万円	10億7900万円	7人	218人
テレビ西日本	144億9472万円	9億7884万円	7人	154人
長崎国際テレビ	45億9803万円	3 億9684万円	5人	65人
大分放送	50億3838万円	2 億9332万円	6人	113人
大分朝日放送	43億5489万円	2 億4550万円	6人	67人
沖縄テレビ放送	55億2524万円	5 億8982万円	9人	104人

【出典】民放連発行「日本民間放送年鑑2018」、財務データは2017年度の数値（朝日放送テレビは2018年4月に免許承継した朝日放送の数値）

■ 規模の大小がありながらもローカル局が各放送エリアに複数あって番組編成を競い合い、NHKとも切磋琢磨する仕組みが、**情報の地域性、多元性、多様性を担保**しています。

■ ローカル局の系列ネットワークは「究極の情報エコシステム」

- 系列ネットワークが日本全国をカバーできるのも、ローカル局があってこそのことです。
- ローカル局が取材した地域コンテンツが放送、ネット配信などで全国、世界に発信されることでさまざまな反応が起こり、課題解決の知恵や日本文化への関心が「地域」に戻ります。この「情報エコシステム」は国民・視聴者の財産です。



6. ローカル局の課題と展望

ローカル局の課題と展望

- 今後とも民主主義の基盤としての役割を果たしていくために、ローカル局は変化を恐れず、**コンテンツ価値の最大化**を図ることで事業基盤の強化に取り組んでいきます。
- そのためには、**地域コンテンツの発信力**を高め、放送事業外収入を拡大することが欠かせません。

■ 地域コンテンツをネット配信するための基盤整備

- ・ 技術面、運用面の確立に向けたローカル局への支援

■ 放送コンテンツの海外展開の拡充

- ・ 国による継続的な支援、外交面での支援（海賊版や違法アップロード対策、各国のコンテンツ輸入に関する規制の緩和）

■ 地域創生に資するイベント事業の展開

■ “オールラジオ”の媒体価値向上と事業の基盤強化

■ 災害対策のさらなる充実